

# 鬼無桃太郎会・新舞踊



去る3月5日(日)午後1時半～徳成寺において、鬼無桃太郎会の皆さんによる新舞踊が披露されました。左の写真が、徳成寺に到着したばかりの演者の皆さんとカメラマンさんです。

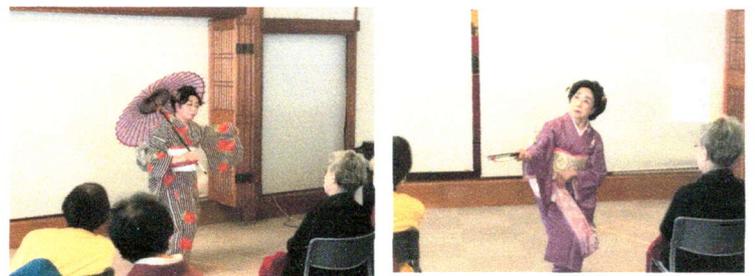
この日は晴天に恵まれて、歩いてすぐのご近所さんから、遠くははるばる徳島からもご参加頂きました。

鬼無桃太郎会さんは、コロナ禍前は年間20回ほどお年寄りの施設に伺って公演していましたが、その機会も減って久しぶりの演舞だったようです。

この日のトップバッターは、4名の皆さんが舞う「伊勢音頭」でした。黒の粋な着物で、先制パンチを食らったかのように衝撃的でした。次は、我々が総代植田チズ子さんの「湯島の白梅」です。この度、新舞踊が実現したのも植田総代さんが昨秋周知した「寺ともイベント募集」に手を上げて下さったおかげです。入念なご準備お疲れ様でした。当日は、盛況で何よりでした。



徳島出身の松浦さんによる「天城越え」です。松浦さんはカルチャースクールで阿波踊りを教えられているとか。さすが腰が入ってますね。川原さんの「高瀬川慕情」竹内さんの「下町育ち」と続きました。



江戸末期、明治初期の「日本橋から」は、遊び人の若旦那の物語が舞われました。トリは会の代表を務める藤間操春先生と松浦さんによる「夢芝居(歌:梅沢富美男)」でした。最後の大見得が格好く決まりました。お見事でした。